

20年度 学校教育計画

項 目		目標・方針及び計画	
(1)	学習活動	目標	<ul style="list-style-type: none"> 各教科・学年・分掌と連携して、効果的で系統的な指導を図る。 進路目標が実現できるように、科目選択の配置などの改善に努める。 わかる授業を工夫して、学習意欲を喚起し達成感を持たせる。
	重点1① 重点1②	計画	<ul style="list-style-type: none"> 多様な進路に応じた科目を配置し、科目選択パターンを提示することで、各自の科目選択を将来の進路目標に基づいたものにさせる。 家庭学習の習慣化を図り、学力の向上と定着に努める。 「互見授業の実施」や「生徒への授業の満足度調査」を行うことによって、授業の改善を図る。
(2)	学校生活	目標	<ul style="list-style-type: none"> 社会規範や校則に対する意識を喚起し、本校生としての自覚と誇りを持たせる。 集団生活を送る上でのマナーを自覚させ、きめ細かい指導を通して自立を支援する。 交通安全や防災に対する関心を高め、身体の安全についての注意を喚起する。 ものを大切に作る態度を育成する。 コミュニケーションがとれる人間関係を築かせる。 教育相談の充実を図る。
	重点2①② 重点2③④	計画	<ul style="list-style-type: none"> 適宜、登校指導を実施し、交通安全や服装に対して日常的に自覚するように努める。 生徒に「さわやかな身なり」について考えさせ、本校生としての自覚を持たせる。 委員会活動を活発化し、生徒の自主活動を通じて明るい校風作りに努める。 自転車に関する交通規則を遵守し、乗車マナーを向上させる指導を通して、交通安全に対する関心を高め、自他の安全に対する注意を喚起する。 外部講師を招請して、安全に関する講話を開催する。 年2回の防災訓練を通じて、身体の安全に対する意識を高める。 紙・ペットボトル・空き缶のリサイクルを促進させるために、ゴミの分別・減量化を生徒会・保健委員会で取り組ませる。 委員会をはじめ諸活動を通してコミュニケーションをとらせるようにする。 相談室の活用に取り組む。
(3)	進路支援	目標	<ul style="list-style-type: none"> 総合学科・看護科ともに科の特性を生かしながら、時宜に応じた適切な進路ガイダンスを行う。 生徒一人ひとりが自ら自己の生きる方向性を見いだして、自己実現を図るよう支援する。
	重点3① 重点3② 重点3③	計画	<ul style="list-style-type: none"> 「産業社会と人間」（総合学科）や様々な進路ガイダンスを通して、進路や職業について考察を深めさせる。 面接指導を重視し、多角的で多様な視点でものを見たり考えることができる能力を育て、進路志望の実現ならびに豊かな人生の構築に努めさせる。 社会人による進路講話や、上級学校等の見学及び模擬授業を充実して、進路や職業に対する認識を深めさせ、その実現のための努力を促す。 確認テストや小テストを実施し、基礎学力の定着を確実なものとし、進路志望に広く対応できる学力を身につけさせる。

(4)	特別活動 重点4①② 重点4③ 重点4④	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的・積極的な活動を促し、責任ある行動、他との協同などの重要性を体得させる。心身の健全な発達を図る。 ・読書を通して、感性を豊かにするとともに思考力や集中力を培い、人間形成の一助とする ・資料を収集・整備して提供し、学校における情報センターの一翼を担う。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ・特色を生かした学校行事の内容や運営を工夫し、ホームルーム活動・生徒会活動を通じて、生徒の自主的活動の育成を目指し支援する。 ・部活動の運営を工夫し、協同と責任を重んじる態度の育成、自己の能力・技能・教養などの資質向上を目指し支援する。 ・朝読書・授業・ホームルーム活動などを通して、読書意欲の向上と読書習慣の定着を図る。 ・生徒図書委員会の活動を充実させる。 ・読書環境を整備する。
(5)	その他 重点5① 重点5②	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校・地域に根ざした学校作りや学校機関・団体への積極的な参加等を通じて、地域との連携や交流を図る。 ・総合学科の生徒には、様々な学びの機会を充実し、生き方・在り方を探求させることで、豊かな職業観・勤労観を育成し、将来を見据えた適切な科目選択ができるように指導に努める。 ・看護科の生徒には、看護に関する基礎的・基本的知識と技能を習得させ、看護の本質と社会的意義を理解させる。 ・看護科の生徒には、看護に従事する者としての望ましい心構えとしての人間尊重の精神等を養い、積極的に健康増進に寄与する態度と能力を育成する。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員会・PTA・同窓会・地域諸団体等と連携し、本校教育活動を広く地域や保護者に紹介して、「開かれた学校」「地域に根ざした学校」作りに努める。 ・積極的にホームページの活用を図る。 ・総合学科の生徒には、「産業社会と人間」「研修旅行」「卒業研究」等、様々な学びの機会を設け、進路実現への意欲向上に努める。 ・看護科においては、教科間の連携を図り、非常勤講師や特別講師との連携を密にして教科指導の充実と、臨地実習の充実に努める。 ・看護科の生徒の興味・関心が持続・向上するよう5年間の学科行事・教科指導等をさらに工夫する。 ・看護科生徒への進路指導の充実に努める。 ・各機関と調整し、大学教員や医師を含めた医療関係者を外部講師として安定的に招請する。